

東京教区時報

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1022号
2007年2月4日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

◇2月の代禱・信施奉献先
▽ぶどうのいえのため▽ハンセン病問題啓発の日▽浦安集会・浦安宣教のため▽平和を実現するキリスト者ネットの働きのため▽東京教区神学生のため

◇堅信受領

1月14日 聖マーガレット教会で
▽内田慈子▽重松伶子▽佐々木幸子(聖マーガレット)
1月21日 清瀬聖母教会で
▽菅浪瑤子▽菅浪瑛子▽宮崎侑▽宮崎真理▽北山隆▽植村玲子▽村松陽子(清瀬)

◆としえの平安

1月22日 八月朔日恵子(48)
聖ルカ

▽「浦安セミナー」では今年
の受講生を募集している。市

今週・来週の予定

2月4日～17日

- 4(日) 顕現後第5主日
- 6(火) エルサレム教区協働委
=聖地訪問団準備会
企画室・財政委合同会
- 7(水) エルサレム訪問団出発
(～17日)
- 9(金) 広報委員会
信仰と生活委員会一泊
研修(～10日・神田)
- 11(日) 顕現後第6主日
正義と平和協議会運営
委員会
- 13(火) 銀座朝禱会
- 14(水) 教役者レクイエム
人権委員会
- 16(金) 教区企画室
信徒講座=教会の歴史
城南G牧師協議会
(聖オルバン)

川聖マリア教会浦安集会の主
催(聖公会神学院共催・北総
4教会宣教協議会協賛)。第1
期「旧約聖書の使信」・2月
17日より5回の開講、第2期
「新約聖書の使信」5月12日
、第3期「信仰と生活」・
9月15日。いずれも土曜日
14時半～16時、WAVEサロ
ン(JR京葉線新浦安駅前)電話
0471-3500-3101。照
会・申込みはセミナー事務局
宛に、電話03(3671)92
15。
▽聖パウロ教会ランチタイム
コンサートは9日(金)12時20
分から30分程度。オルガン||小
島弥寧子。入場無料。

(この用紙は再生紙を使っています)

団塊の世代の私たちは大勢の友人に恵ま
れた。私が聖アンデレ教会で青年時代を過
ごすことが出来たのは、中学校時代の友人
が高校でも一緒に、その友人が高校生会に
誘ってくれたからである。そこで出会った
高校生や、年長の青年会の方々が私たちを
育ててくれた、と今になって気づかされて
いる。教会のキャン
プや様々な集まりに
積極的に押し出して
くれたし、お金がな
かった私たちの費用
を自腹で応援してく
れたのである。その時には何も気づかず、
今頃になって「あの先輩たちのお陰なんだ
なあ。有難いことだった」と、しみじみ思っ
ている。

《恵みに生かされて》 人を活かし育てること

司祭前 田良彦

教会の若い世代を育てようとしてこの教会
でも苦勞している。今時の若者は…つてい
つの時代でも言われているのだけれど、若
い世代が何を考えているのやら、考えてみ
てもわかる筈もない。私も高校・大学生の
頃は教会の大人たちに今時の若い連中は
「…と言われていた。けれども高校生会や

青年会のリーダーたちは、当時の団塊の世
代の考えていることをジーンと聴いてくれ
た。そして、日曜学校教師大会や様々な勉
強会に送り出し、「自分たちのやりたいこと
は何なのか、纏めてくれば？」と励まし続
けてくれた。
20年前、「青年の集い」というグループが
立ち上がった。いくつかの
ボランティア活動をしてい
たグループが協同して様々
な企画を作り実施してい
た。私は少しだけお手伝い
をしたのだけれど、彼らの
議論を聞きながら、とにかく話を聞かなか
れば理解することも出来ない」ということ
だったような気がする。

今、教会の若い仲間を応援することは、
教会として大事にしなければならぬ現場
を一緒に学ぶことではないかと思ふ。時
には送り出すことが必要なのではないだろ
うか。恵みとは人を活かし育てる働きのこ
とを示す言葉ではないだろうか、と思ふの
ですが、違いますか？

(聖マルコ教会牧師)

▽エルサレム教区協働委員会
で呼びかけていた新しい聖地旅行を考えるエルサレム教区訪問団が7日、パレスチナに向け出発する(1月14日号「学びと働きから」で既報)。一行は山野繁子司祭(東京諸聖徒教会)を団長とする14人で、東京教区高橋頭司祭のほか北海道・神戸・九

州教区から5司祭が、またNC
C国際担当幹事を含む7人の信徒が教区を超えて参加する。現地では聖公会聖職者・信徒との交りや各地の病院・諸施設の訪問、旅行会社、旅程の調査を予定。17日に帰国する。
▽関東三教区生野委員会
日韓の歴史を学ぶ会Ⅱ歴史の

公 示
日本聖公会東京教区第104(定期)教区会を下記のように招集します。
救主降生2007年1月26日
日本聖公会東京教区
教区会議長
主教 ペテロ 植田仁太郎
記
日 時 2007年3月21日
(水・休日)
午前9時から午後5時まで
場 所 開会聖餐式
聖アンデレ主教座聖堂
議 場 聖アンデレホール
東京都港区芝公園3-6-18
書記を次のように任命する。
執事 ジェームス 須賀義和
司祭 グレース 神崎和子
以上

挟間を生きて」が2月17日(土)14時~16時、牛込聖バルナバ教会で行われる。講師・李仁夏(イ・インハ)在日大韓基督教川崎教会元老牧師)。前売券400円・当日券500円。照会などは東京教区担当の香山洋人司祭宛に、電話03(3985)2694。
▽礼拝音楽委員会などが中心となつて昨夏、軽井沢で行なつた「新聖歌を歌う会」のあと、有志たちで引き継いできていた「聖歌を歌う会」が毎月第2木曜、ナザレ修女会ホールで行われていて、参加を呼びかけている。次回は2月・3月とも8日13時半~15時半、会費として各回500円。照会先電話042(47)5574。

【学びと働きから】 30

教 区 聖 歌 隊

1月20日、聖職按手式の祭壇脇、いつもの朱色の式服とは違い私服で奉唱されていた30人ほどの教区聖歌隊の皆さん…。礼拝音楽委員会(長・宮崎光司祭)に属し、那須輝彦さん(青山学院大学助教)が指揮。委員会の聖歌隊担当斎藤響子・村田信子さんに、ひとこと伺った。
—— 今日はずいぶん大勢で歌っていたように…

司祭按手式ということで聖パウロ教会聖歌隊の方が4人、加わってくださって…、普段は20人から25人ぐらいです。
—— 今後の奉唱予定は…
2つのキャンドルマス、3回

の合同堅信式、聖職按手式、超教派教会音楽祭、教区フェスティバル…そのほかで、今年10月ぐらい、結構あります。

—— その間、練習とか隊員募集とかは…

メンバーはいろいろな教会に所属していて仕事を持っている人が多いですからなかなか…。奉唱予定に合わせて月2回ほど。募集は折にふれて…。礼拝奉仕のお気持ちがある方であればまず参加していただいて…。

—— 日頃、心がけているようなことは…

より豊かな礼拝を目標に、日本語の曲とくにチャントを美しく言葉が伝わるように努力しています。心を一つに声を一つに賛美できることを願って…。

《今、この教会では…》

牛込聖公会聖バルナバ教会

当教会は「障害者と共に歩む教会」をめざしている。手話やOHPを体験したり、視覚障害をもつ日高執事の日常の行動を通して障害も適切に対処すれば負ではないと学んでいる。障関連の「お話しを聴く会」や外濠教会グループの「バリアフリーのクリスマスパーティー」に協力しながら障害をもつ人々への自然な接近を試みてもいる。東西線「神楽坂」駅から徒歩一分の便利さも、地上へのエレベーターがないため、活かしきれない。エレベーター設置への強力な働きかけは、地域と共存し小さくされた者と共に歩む教会の当面の課題である。
(大澤花子)